

HIV 検査

Q：HIV 感染が心配なのですが、何処で検査を受けられますか？

A：保健所もしくはHIVの公的検査機関、もしくはHIV検査を受け付けている医療機関などで受けられます。保健所及びHIV公的検査機関では原則無料で受けられます。

Q：人には知られたくないのですが。

A：プライバシーの保護には注意しています。保健所では、全国どこでも無料・匿名で検査が受けられます。保健所の職員には守秘義務が課せられていますので、個人情報漏れることはありません。

また、医療機関では有料で検査が受けられますが、カルテや診療記録をつくる必要がありますので、匿名という訳にはいきません。しかし、医療従事者や関係者には守秘義務がありますし、法律においても規定されていますので、そこから個人情報漏れることはありません。

日本でもHIV感染者の数が増加しています。日本の感染者は現在、約1万2千人です。札幌市では昨年は年間届出数として過去最高の13人(輸血などが原因によるものは除く)でした。

最近ではHIV感染は死を意味するものではなく、適切な治療を受ける事により、その発症を抑えることも可能になってきています。抗HIV薬の出現により、HIV感染症は慢性的に治療する疾患となりました。

<HIV検査>

HIVの感染初期には血液検査では陰性となり、感染していることが検査ではわからない「ウィンドウ期間」と呼ばれる期間があります。HIV抗体検査では感染した日から通常約1カ月あります。この期間中でも輸血により感染が起きる危険性があり、特に「感染性ウィンドウ期間」と呼んでいます。HIVの感染性ウィンドウ期間は抗体検査で22日、感度の良いNAT検査(ウィルス核酸増幅検査)でも11日あります。従って、1カ月以上たってからの検査で陰性であれば、感染の可能性はかなり低いと言えますが、感染していないことを確定するためには感染したと思われる日から3カ月以降に検査を受けるよう言われています。HIV感染のリスクがある場合は献血を避けて、保健所等の検査機関でHIV検査を受けるようにしてください。

道立保健所で実施しているHIV抗体検査は平成16年4月から検査結果が陰性の場合には、検査当日に連絡できるようになりました。ただし、新しい検査法は感度が高いため、他のものにも反応して判定がはっきりしない場合があります。その場合は、道立衛生研究所で確認検査が行われるため2週間程かかってしまいます。

検査は、保健所・HIV公的検査機関では原則無料です。匿名で検査が受けられようプライバシーにも配慮しています。

<検査を受ける手順>

検査を受ける保健所へ電話し、検査の予約を行います。(日時・場所)



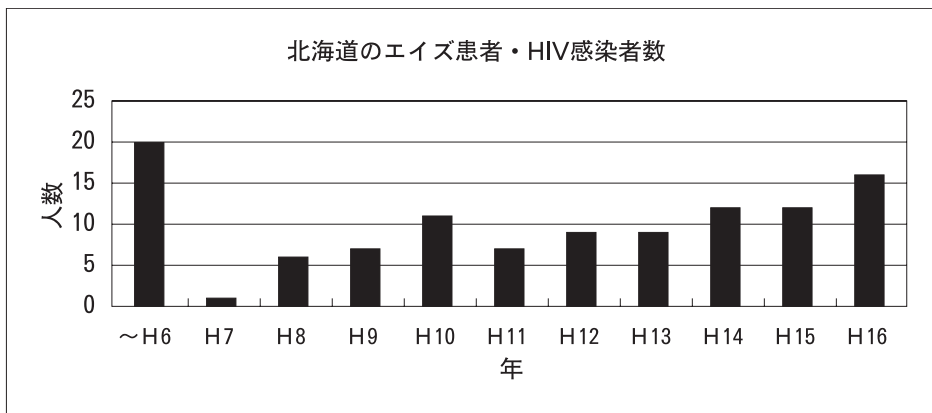
検査当日

- ① 検査の申込、検査の説明とカウンセリングを受ける。
- ② 採血をする。
- ③ 結果の説明を受ける。(採血から1時間程度)

* 陰性と明確に判定できない場合、又は陽性が疑われる場合には、確認検査を実施するので次回(約2週間後)の結果説明の日時を予約します。

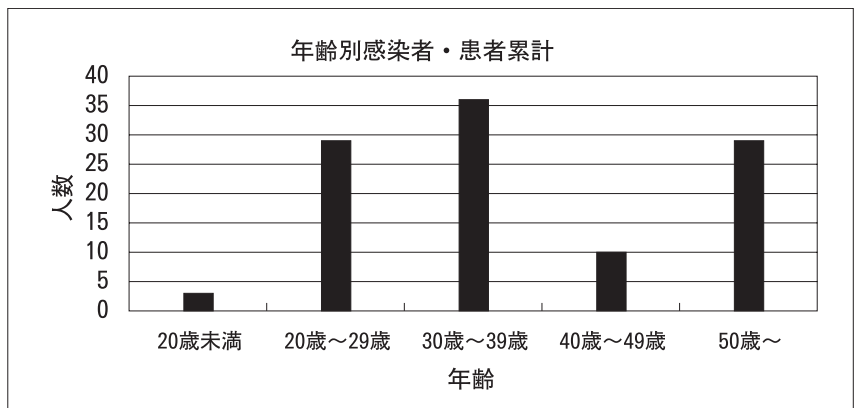
北海道のエイズ患者・HIV感染者数 (北海道、「疾病対策概要」より)

	～H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	計
北海道	20	1	6	7	11	7	9	6	12	12	16	107
全国	1843	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1165	9837



北海道のエイズ患者・HIV感染者年齢別累計 (北海道、「疾病対策概要」より)

HIV感染者数	累計
計	107
20歳未満	3
20歳～29歳	29
30歳～39歳	36
40歳～49歳	10
50歳～	29



北海道のエイズ患者・HIV感染者は平成13年から微増ながら増加しています。全国に比べるとその割合は約1%と低い比率であることから、まだ受診していない感染者・患者が潜在していると考えられます。また年齢別患者・感染者では20代、30代が多く報告されています。

HIV感染症は、感染の当初はほとんど自覚症状がないことから、感染していることに気づかず性行為などで感染が蔓延していきます。予防を心がけ、感染が心配な場合は検査を受けることが大切です。

<拠点病院>

患者・感染者が安心して受診できるよう地域にエイズ拠点病院が整備されました。北海道では19の拠点病院が指定されています。地方ブロックのエイズの医療水準の向上及び地域格差の是正を資するために北大、札幌医大、旭川医大がブロック拠点病院として整備されました。

北海道の拠点病院		— 2004.4.1現在 —
拠点病院名	電話番号	
国立大学法人 北海道大学病院	011-716-1161	
札幌医科大学医学部附属病院	011-611-2111	
国立大学法人 旭川医科大学医学部附属病院	0166-65-2111	
市立旭川病院	0166-24-3181	
総合病院旭川赤十字病院	0166-22-8111	
J A北海道厚生連旭川厚生病院	0166-33-7171	
釧路労災病院	0154-22-7191	
総合病院釧路赤十字病院	0154-22-7171	
総合病院北見赤十字病院	0157-24-3115	
市立函館病院	0138-43-2000	
独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター	011-811-9111	
独立行政法人 国立病院機構 札幌南病院	011-596-2211	
独立行政法人 国立病院機構 道北病院	0166-51-3161	
北海道立紋別病院	01582-4-3111	
北海道立江差病院	01395-2-0036	
J A北海道厚生連帯広厚生病院	0155-24-4161	
市立札幌病院	011-726-2211	
市立小樽病院	0134-25-1211	
市立釧路総合病院	0154-41-6121	

<参考資料>

- 1) 小池隆夫：北海道におけるHIV医療体制の構築に関する研究, HIV感染症の医療体制に関する研究－総合研究報告書, 2002
- 2) 北海道: 疾病対策概要, 2004
- 3) 朝日新聞：2005年7月2日朝刊
- 4) 北海道新聞：2005年7月6日夕刊
- 5) エイズ予防情報ネット HP：
<http://api-net.jfap.or.jp/>
- 6) HIV検査相談マップ：
<http://www.hivkensa.com/mame.html>